2016 年度実施

（2016 年 9 月入学、2017 年 4 月入学）

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科

入学試験問題

小 論 文

試　験　時　間
10 時 30 分 ～12 時

2016 年 7 月 9 日

[注意事項]

① 指示があるまで問題を見ないこと

② 解答は全て答案用紙に記入すること。下書き用紙や問題冊子に記入した解答は採点の対象とならないので、注意すること

③ 試験終了後は答案用紙、下書き用紙、問題冊子を全て提出すること

④ 解答のはじめに、問題番号を必ず記載すること（例：[1] ― 1.など）

⑤ 全ての設問について解答すること

1 ＜テーマ別論述問題（5 問×10 点）＞

1. 事業化段階における「ダーウィンの海」での熾烈な生存競争を勝ち抜くうえで必要となる「ビジネスモデル」の構築とは何か、説明せよ。

2. 既存大企業はラディカル・イノベーションを生み出す新市場の将来性を軽視しがちであるために、ラディカル・イノベーションを生み出しにくくなると指摘されることがある。これについて説明せよ。

3. 業界標準とは何か、説明せよ。

4. コンカレント・エンジニアリング（CE）の定義と製品開発における特性の詳細を説明せよ。

5. バリューチェーンとは何か、説明せよ。

≪次ページへ続く≫

2 ＜自由論述問題（50 点）＞

音楽のネット配信（インターネットを通じて楽曲を配信すること）が出現し、普及した背景について技術経営の観点から論ぜよ。

解答には下記のキーワードより５つ以上選んで使用すること。どのキーワードを使用したかがわかるように答案用紙に記入した解答のキーワード部分に下線を引きなさい。キーワード部分に下線を引かなかった場合は減点となります。この問題冊子のキーワードに下線を引いても採点の対象にならないので間違えないこと。

【キーワード】
テクノロジー・プッシュ
ディマンド・プル
製品ライフサイクル
戦略的なポジショニング
技術進歩のＳ字曲線
製品イノベーション
工程イノベーション
Ａ－Ｕモデル
ドミナント・デザイン
成功体験の呪縛
サンク・コスト
カニバリゼーション
インクリメンタル・イノベーション
ラディカル・イノベーション
イノベーターのジレンマ
能力増強型イノベーション
能力破壊型イノベーション
アーキテクチャル・イノベーション
持続的イノベーション
分断的イノベーション
技術の評価
製品開発のリスク
顧客ニーズ
技術セレクション

≪次ページへ続く≫

技術ロードマップ
コア技術
競争優位
標準
業界標準
規格間競争
世代間競争
デファクト・スタンダード
ネットワーク外部性
キラー・アプリケーション
選択と集中
コモディティ化
製品アーキテクチャ
モジュラー型
インテグラル型
オープン型
クローズド型
モジュール化
プラットフォーム・リーダー
統合企業のジレンマ
コスト・リーダーシップ戦略
差別化戦略
機能的価値
情緒的価値
セグメンテーション
ターゲティング
製品コンセプト
事業収益性
組織マネジメント
機能部門別組織
重量級プロジェクト・マネージャ型組織
コンカレント・エンジニアリング
オープン・イノベーション
アウトソーシング
アライアンス

≪次ページへ続く≫

垂直統合
水平統合
ファウンドリ企業
ファブレス企業
シナジー効果
製品戦略
ビジネスモデル
バリューチェーン
収益モデル
コスト優位
差別化優位

≪以　上≫